

新編
新編
新編

~ 13
R726
17



門 へ 13
 3726
 卷 卅七

新編 菊壽童霞盃
 九編 上冊

山東庵京山作
 一陽齋豊國画

弘化四歳
 丁未春新販



栄久堂上梓

海老田画

一

菊壽童霞盃をかむけて既九編のくまきふり
 醒てのうへに別も巻き作者のまことされなり
 菊の水華のひるまき作り菊もあらで花をはまき
 きくまきあみさかんと此九編と金本のまき
 と前よ出しる人物のまきとむすはまき
 巻ふりしと霜後のまきとまきまきとまき

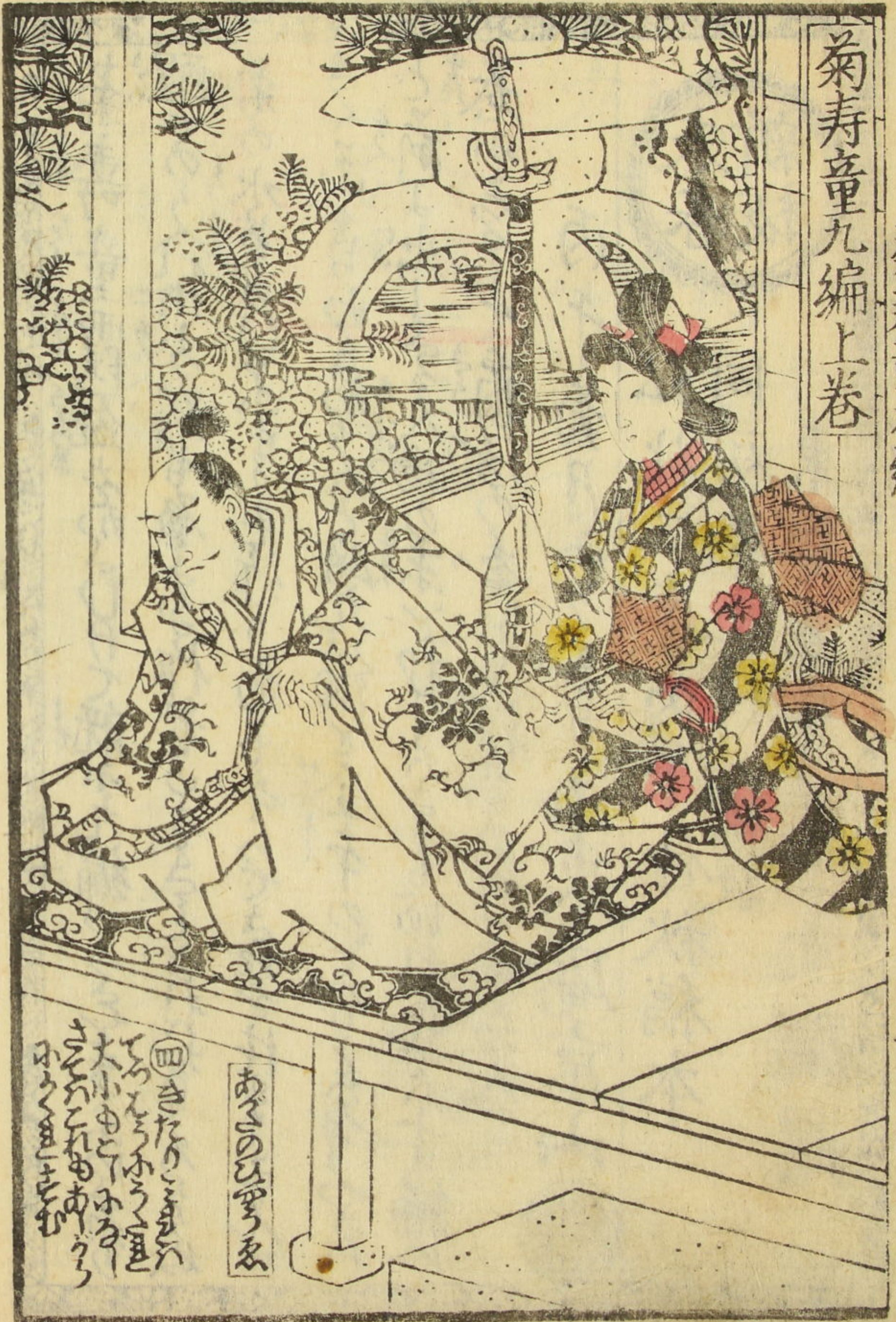
丙午菊月ふらき日 山東庵京山

未春 新板

弘化三年丙午仲秋稿本
 同初冬上梓發販
 東都書賈栄久堂 栄久堂

菊壽童霞盃

菊寿童九編上巻



④ きたりいふ
てんとういふ
大小ゆいふる
さかこれあやう
みくきまわ

あまのひつる

ぬす人のまつさ
あまのひつる
ひつるあまの
ゆきまわ
けれ
⑤



① つきくえんが
それをもつて
かまんとあつた
さかこれあやう
みくきまわ
けれ
②
かまんとあつた
さかこれあやう
みくきまわ
けれ
③
かまんとあつた
さかこれあやう
みくきまわ
けれ

⑥ ひつるあ
かまんとあつた
さかこれあやう
みくきまわ
けれ





の美り
 ちよんま
 あちの休き
 へと自まて
 あちの休き
 川へまのうま
 さるまもたう
 けまのり
 のちと
 ハチハチ

あちの休

第六段 竹川がまのり
 ちよんまあちの休き
 へと自まてあちの休き
 川へまのうまさるまもたう
 けまのりのちとハチハチ

あちの休き
 へと自まて
 あちの休き
 川へまのうま
 さるまもたう
 けまのりのちと
 ハチハチ

白菊丸

白菊丸

白菊丸



あちの休き
 へと自まて
 あちの休き
 川へまのうま
 さるまもたう
 けまのりのちと
 ハチハチ

あちの休

あちの休

あちの休

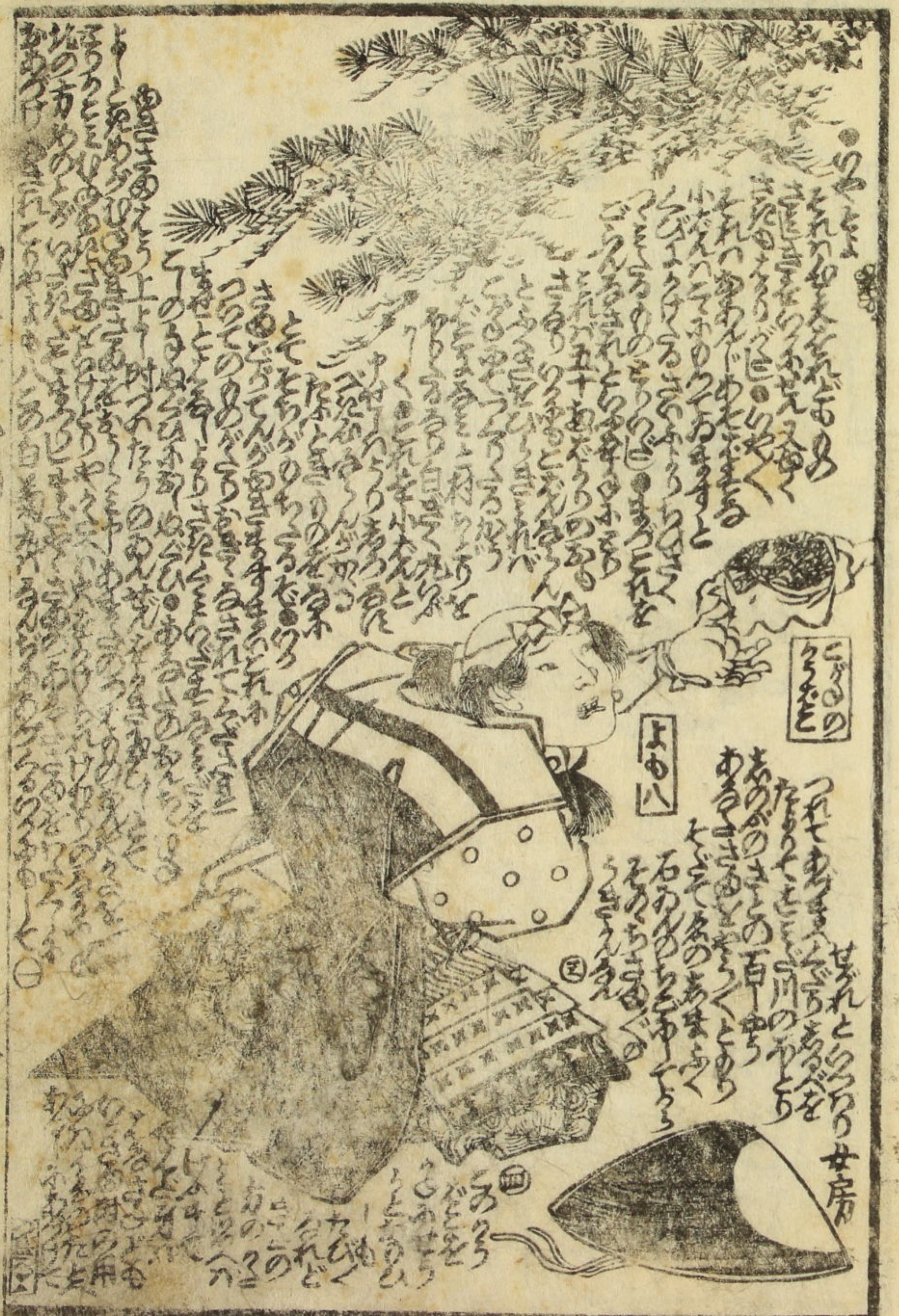
あちの休





この方の

③

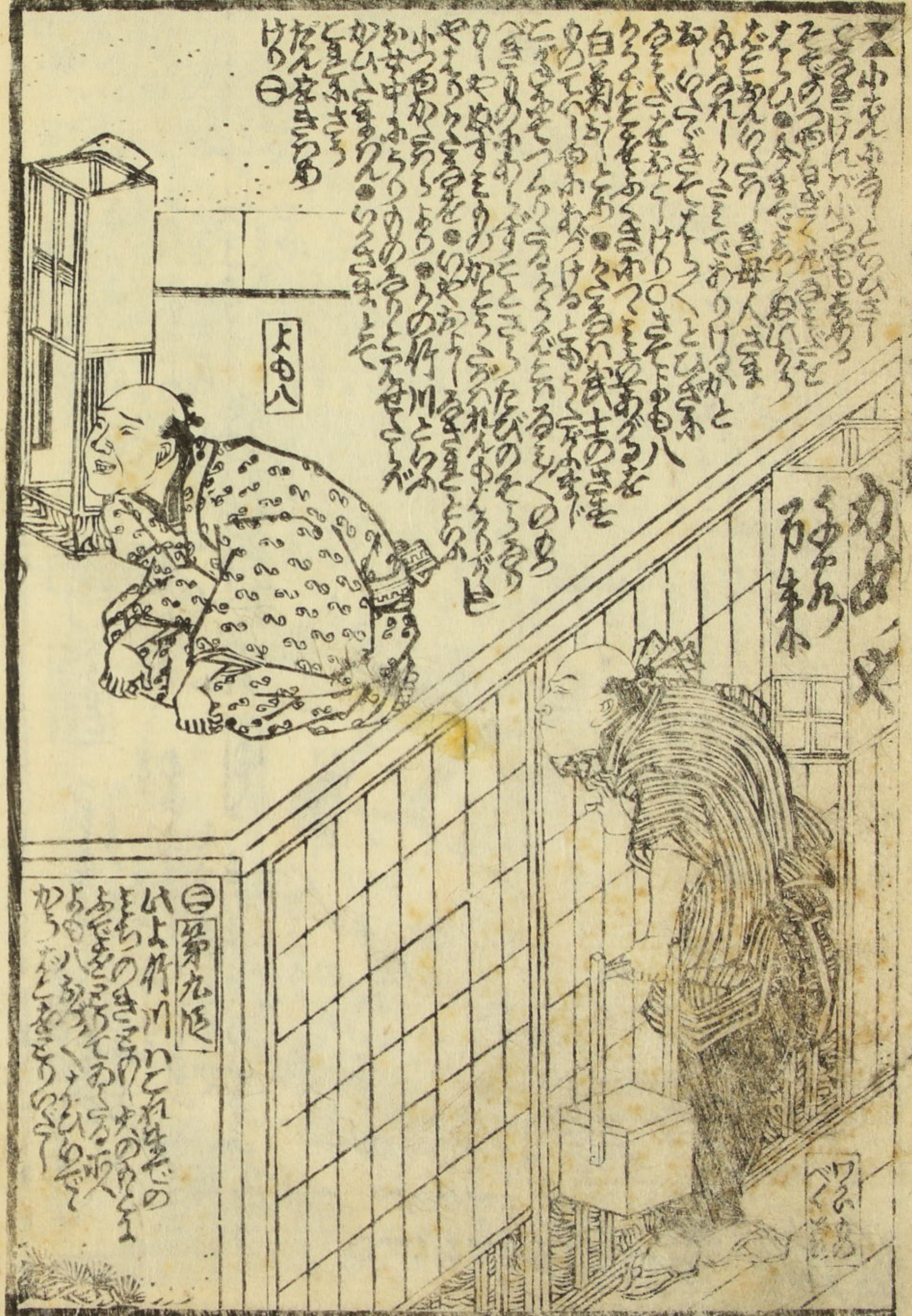
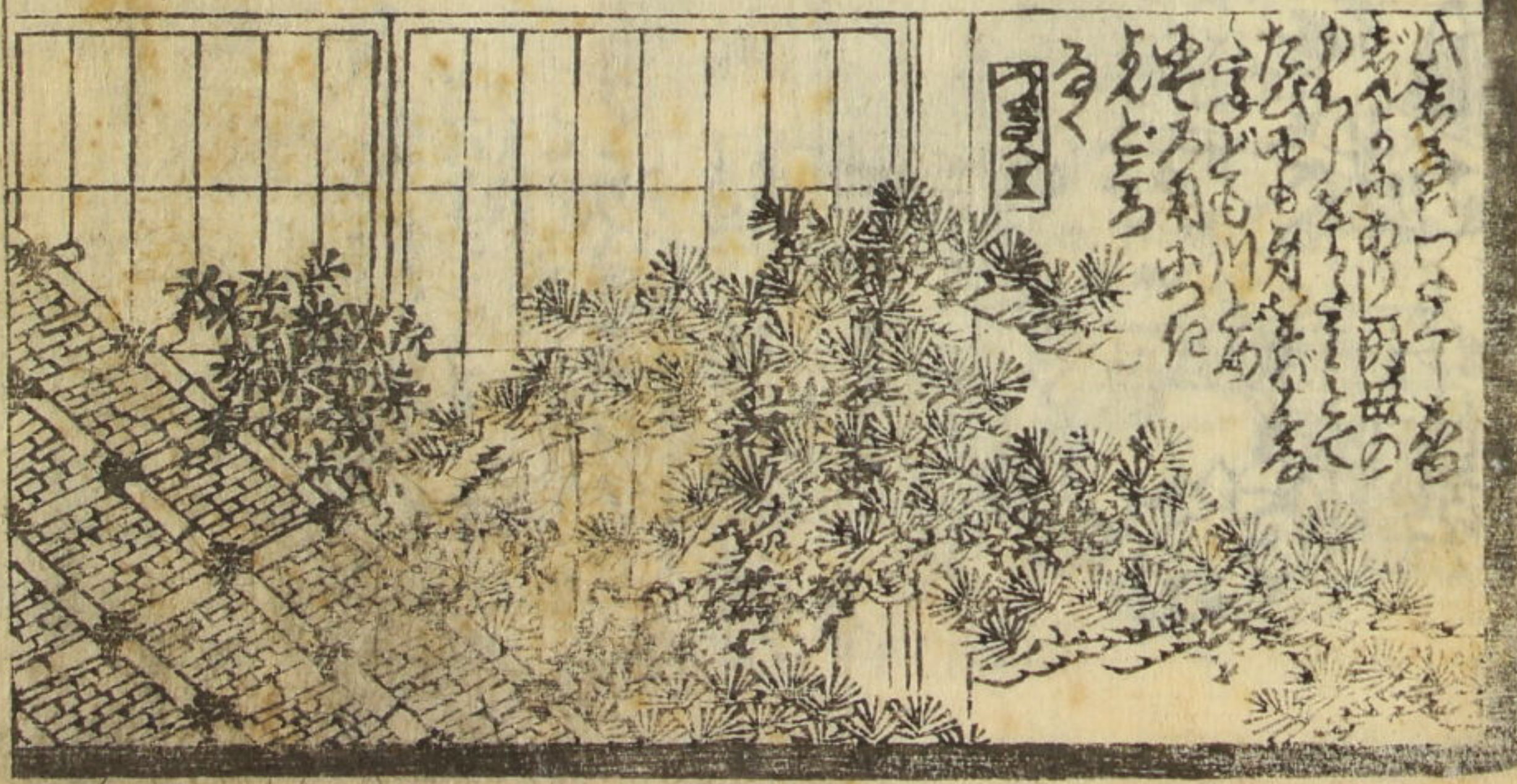


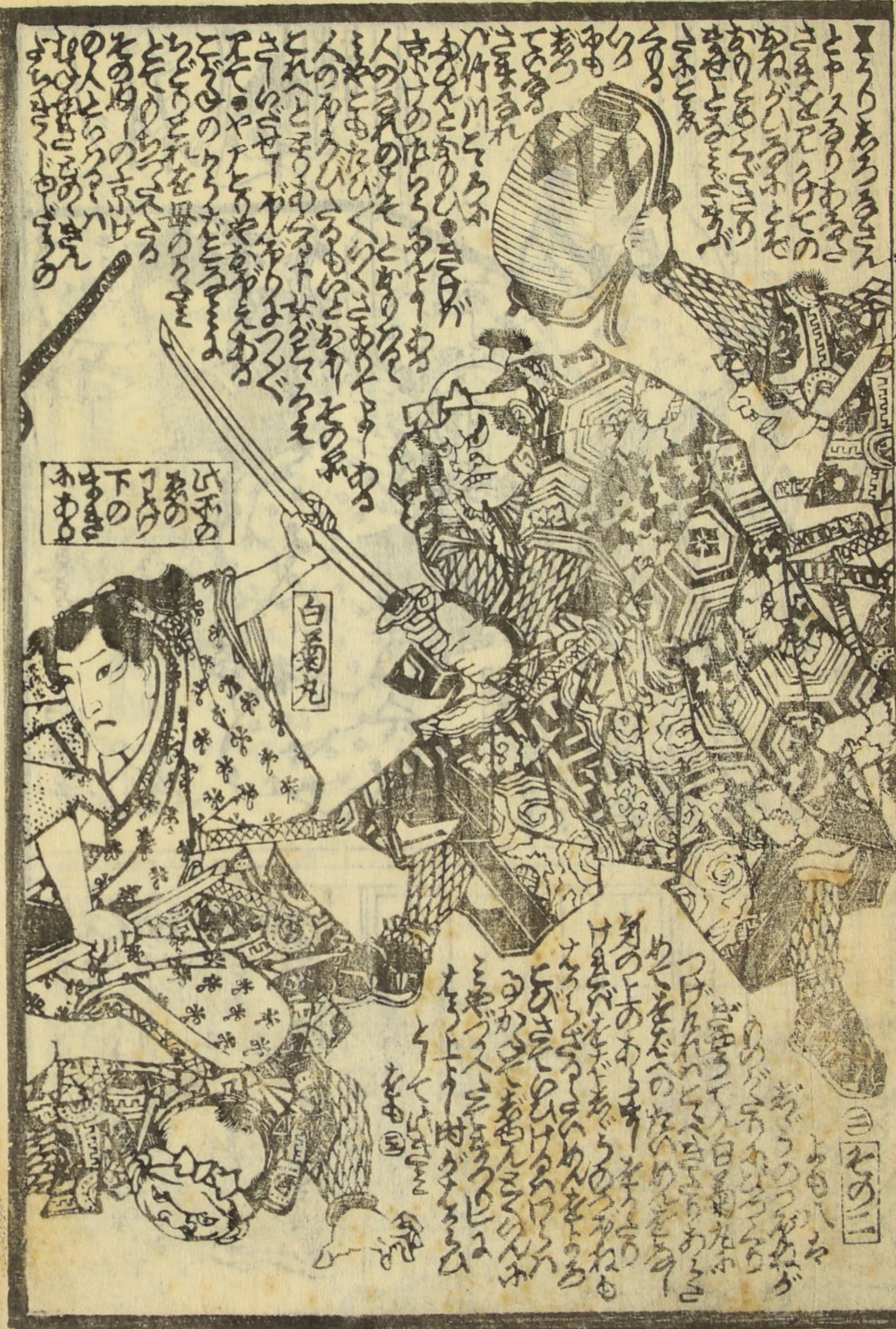
その

この

よも

④





菊壽童九編上巻の序文。この巻は、菊壽童の生涯とその作品について詳しく記述している。序文には、菊壽童の生誕地である山崎の地を詳しく説明し、その地が菊壽童の創作に与えた影響について述べている。また、菊壽童の作品の特色や、その時代背景についても触れている。

菊壽童九編上巻

菊壽童の生誕地である山崎の地を詳しく説明し、その地が菊壽童の創作に与えた影響について述べている。

京山作 豊国画



榮久堂刊行藏板目録

水花百人首文十抄

首書 繪抄

源氏又十に帖

御詠深逢山鹿子 六編揃

但平吉梓

縁結妹弁双

書肆

江戸市町名寄橋角

山本平吉梓

